

松山笠置記念心臓血管病院で学んだこと

愛媛県立松山西中等教育学校 古市 菜緒

○病院を選んだ理由

祖母に、医師になることを勧められていたからです。それぞれの診療科での仕事について興味を持ちました。

○期日と内容

10月23日から10月27日の5日間

- ・ オペ見学 ・ 血圧、脈拍の測定 ・ 薬の調合体験 ・ 病院内の機械説明
- ・ 放射線治療についての講話 ・ 院長、副院長のお話等

○体験して学んだこと

外来、放射線治療、リハビリ、病棟での仕事など、5日間で様々なことを見学させていただきました。そこでは、医師や看護師、臨床検査技師、薬剤師、リハビリスタッフ、事務の方などのたくさんの人と関わることができました。それぞれの職種の方に教えてもらったことは、コミュニケーションをとることの大切さです。病院内で働いている方々は、患者さんと会話しながら日々仕事をしています。それだけでなく、各職種の方々同士も、コミュニケーションをとり合いながら患者さんの心身の状態を共有しているそうです。人とつながり、支え合うことは、どの仕事でもとても大切なことです。病院では、怪我をして不安な人がたくさんいます。その方々と接していくためには、相手の気持ちを思いやることが大事だと考えました。まずは、自分自身が明るく素直な気持ちを持ち、どのような場面においても、他者との関わりを大切にしていきたいです。

○興味を持ったこと

私たちが外来の見学をした時、12時を回っていましたが、待合室にはまだまだたくさんの患者さんがいました。生活リズムが崩れやすい仕事ですが、毎日朝早くから夜遅くまで働いています。睡眠時間はどのくらいとることができるのか、元気でいるために何に気を付けているのか、医師の一日の生活について興味を持ちました。

○職場体験を終えての感想

医師という難しい仕事を見学させていただき、とても緊張しました。絶対になくはない仕事であり、責任の重い仕事だと思います。ですが、だからこそ得ることができる達成感や、患者さんが元気になり笑顔になってくれたことのうれしさなど、自分にプラスになることが多い仕事だと感じました。自ら努力し、挑戦していくことの大切さを改めて学びました。この職場体験学習で学んだことを、今の学校生活に生かしていきたいです。